

### 1 学年主任より (吉澤)



11月初旬に実施したベネッセ模試はどうでしたか？解答時間は国語・英語が80分、数学が100分と、前回の模試より長くなりました。解答する場合、どの分野に時間をかける必要があるかを考えるべきです。試験中の時間を有効に活用するために、模試の問題を最初から最後までざっと目を通して、時間配分を決める習慣を身につけましょう。試験時間終了まで時間があるにもかかわらず、問題冊子を閉じていた人、寝ていた人が多数いました。試験監督からの「解答やめてください」という合図まで「1点」でも多く点数を取ろうとする気持ちがとても大切になります。問題文を繰り返し読み込むことで、授業で学んだ解法等に気がつくことがあるかもしれません。最初から頭で考えずに、文章の意図を理解せずに問題を解けば、正答率はあがりません。

何よりも大切なのは、模試が終わってからの「取り組み」です。問題を解いている時分からなかった原因について模範解答を見ながら確認しましょう。例えば、英語のどのような分野、リスニング・文法（語法）・長文読解・英作文・発音、アクセントの分野ができたかどうかを知ることが大切です。次に単語や熟語、文法理解ができているかどうかを確認しましょう。最終的に長文読解と英作文・リスニングができるようになることが目標です。基本的な単語・熟語を覚え、文法のポイントをしっかり理解すると、英語力が向上し、みなさんの点数を上げることができます。そして、英文に慣れる必要があるので、毎日英語に触れることを心がけましょう。

11月には、3年ぶりに東京方面への大学見学を実施することができました。5つのコース（文教大学・獨協大学、武蔵野大学・千葉工業大学、武蔵大学・埼玉県立大学、国立天文台・東京経済大学、明治大学・立正大学）にわかれて、班ごとに事前学習から事後学習に取り組みました。各大学のWEBで、大学の雰囲気を知ることができますが、実際に見学するとより具体的に大学の様子を理解できたと思います。今後、各コースの代表がプレゼンを行います。自分達以外のコースや理系・文系の学ぶ内容を知ること、今後の進路選択に生かし、現時点での進路希望と比較してみましょう。比べて考えることで、自分自身の方向性が見えてくると思います。

進路実現のために、評定平均を上げることが大切です。評定平均を上げることで、進路選択の幅が広がります。期末考査では中間考査より良い結果を出しましょう。来週の2者面談中でも学習時間を確保することができるので、期末考査2週間前から、家庭学習時間を確保し、1週間前から4時間以上を目標に努力しましょう。2年後の進路実現のために、自分自身の「平均評定」が4.0以上になることを目標にして取り組みましょう。

### 2 2学期期末テストについて

科目名	期末テスト範囲	提出物等
現代の国語	「コインは円形か」P97～103 「場に応じて考える」ー中身当てクイズーP108～P110 「海ガメの無念」P111～P114	
言語文化	「羅生門」 二段落から最後まで 「伊勢物語」 芥川、筒井筒	学習課題集・授業ノートをテスト日に提出
数学ⅠA	数学A教科書P.62～P.109 (P.85～88作図は除く) 問題集アクシスP.104～P.130の一部 (P.120～P.121は除く)	ドリル、課題プリント内容は授業にて別途指示 テスト日の放課後に提出
歴史総合	教 P82～103 (6・7・8・9・10・11・12・13・14) ワークノート P64～81	提出物については教科担任の指示に従うこと。
公共	教科書 p.86～99, p.104～112 ワーク p.70～89	提出物・期日については別紙にて指示
地学基礎	教科書：p106 第4章宇宙と地球のすべて ネオパル：p52の23～p67まで	ネオパル23ー29および第4章章末問題
化学基礎	教科書 P.84～P.111 アクセスノート P.42～P.63 プリント No.14～No.18	テスト後最初の授業でアクセスノートを確認
英語コミュニケーションⅠ	教科書：P.54～P.69 ワーク：P.20～P.27 リスニングテストあり	ワークブック：テスト日に番号順に揃えて提出
論理表現Ⅰ	教科書：P.50～P.69 ワーク：P.28～P.39 WordNavi：P.92～P.121 (Unit40～54)	ワークブック：テスト日に番号順に揃えて提出
保健	教科書：P.6～25 保健ノート：2～17	テスト当日ノート提出

### 3 11月・12月初旬の主な予定



- 11月21日(月)～28日(月) 二者面談(10分短縮6時間授業)
- 29日(火) 放課後学習会(予定)
- 30日(水) 大学見学事後学習：コース別プレゼン・放課後学習会(予定)
- 12月1日(木)～6日(火) 期末考査
- \*次号では、大学見学の様子や学習方法等、冬季休業の課題等について伝えます。